

既にそこにあるもの

大森伸朗展

2023.5.3 [水・祝]

7.2 [日]

愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
Hōrinouchi, Matsuyama, Ehime, 790-0007, Japan
<https://www.ehime-art.jp/>

Shinro

愛媛県美術館開館25周年記念

開館時間：9時40分 - 18時 (入場は17時30分まで)

休館日：月曜日 ※ただし6月5日は開館、6月6日(火)は休館

主催：愛媛県美術館、東京国立近代美術館

協賛：株式会社ベネッセホールディングス、公益財団法人 福武財団

愛媛展協賛：愛媛銀行、道後温泉旅館協同組合、株式会社サンメディカル

NINO INC.、有限会社スタジオ広遊、藤田産業株式会社、

TMTミオカ株式会社、株式会社ア・ファクトリー、

道後商店街振興組合

特別協力：TAKE NINAGAWA、宇和島市、松山市、

未来へつなぐ道後まちづくり実行委員会



展覧 0 | Mnemoscape 0

212 x 161 x 16 cm

2022.1.31、作家蔵

© 2022 Shinro Ohtake

Courtesy TAKE NINAGAWA, Tokyo

Photo by Okano Kei

愛媛県美術館

The Museum of Art, Ehime

新型コロナウイルス感染症の予防・拡大防止のため、イベント等の中止・変更や、やむを得ず展示室内の入場制限を行う場合がありますのでご了承ください。

SHIRO OKHTAKE

あらゆる「もの」は画材である



4つのチャンス | Four Chances
1984 / 162×162 cm



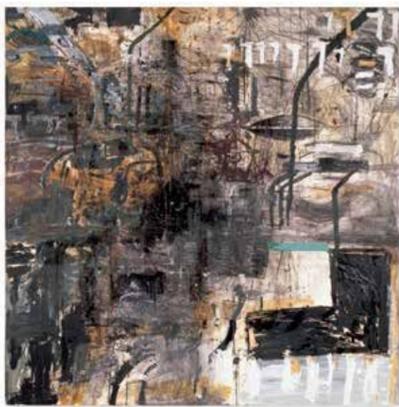
網膜 / 太陽風 I | Retina / Solar Wind I
1990-2020 / 230×170×10 cm



時鐘 / フィードバック
Time Memory / Feedback
2015 / 42×42×96 cm



スクラップブック #50
(網膜 / 銀色のチーズ) / 宇和島
Scrapbook #50
Retina / Silver Cheese / Uwajima
1992 / 67.1×56.8×9.4 cm
84 pages / 23.1 kg



ジェノヴァ I | Genoa I
1985 / 190×185 cm



時鐘 30 | Time Memory 30
2018 / 200×150×10 cm



楳屋 14 | Oku-Kai 14
2018 / 153×133×9.2 cm



スクラップブック #43 / ベルリン
Scrapbook #43 / Berlin
1984.12-1988.7.23
26.6×21.3×11.4 cm
154 pages / 2.3 kg



スクラップブック #1 / ロンドン
Scrapbook #1 / London
1977 / 21.5×13.2×3.6 cm
196 pages / 0.4 kg



モンシェリー: スクラップ小屋としての自画像
MON CHERI: A Self-Portrait as a Scrapped Shed
2012 Photo: 山本真人 Yamamoto Masahito



豆蔵屋のどんかつ | Tofuya Tonkatsu
2015.9.15 / 53×45.5 cm

EZMD I
1984 / 194×162 cm



スクラップブック #1 / ロンドン
Scrapbook #1 / London
1977 / 21.5×13.2×3.6 cm
196 pages / 0.4 kg

本展は、高度成長期の東京に生まれ育ち、1988年以降は愛媛県宇和島市を拠点に制作する大竹伸朗の軌跡を7つのテーマ「自/他」「記憶」「時間」「移行」「夢/網膜」「層/音」に基づいて読み解く回顧展です。大竹伸朗(1955)は、分野を限定することなく多彩に活動を展開し、二大国際展であるドクメンタ(2022年)とヴェネチア・ビエンナーレ(2023年)に参加するなど、現代日本を代表するアーティストとして海外でも高く評価されています。消費され、忘却されてゆくようなあらゆる「もの」に着目し、半世紀近くにわたり独創性に溢れる作品を手掛けてきました。その膨大な数の作品の中には、「ニューシヤネル」や「宇和島駅」を始め、宇和島ゆかりの作品も数多くみられます。今回、ライフワークである70冊を超える《スクラップブック》や記念碑的な立体大型作品を含む、選り抜かれたおよそ500点にも及ぶ作品を、改めて時系列から切り離し、その作品世界に没入できるように再構築してご紹介します。大竹伸朗が、その半生をかけて見つけてきた情景を、作品を通して追体験していただければ幸いです。

開館25周年を迎える愛媛県美術館で、初の地元開催となる本展では、宇和島市、そして道後温泉本館(松山市)と連携した特別展示も実施します。



ダブ平 & ニュージャネル | Dub-Hei & New Chanell
1999 / 450×530×310 cm (stage) 公益財団法人 福武財団



ゴミ男 | Rubbish Men
1987 / 405×405×20 cm
東京都現代美術館 / Photo: 木奥恵三 Kioku Keizo



ティーチング・オブ・イスラム III
Teaching of Islam III
1985-87 / 225×170.5×100 cm
公益財団法人 福武財団



スクラップブック #67 / 宇和島
Scrapbook #67 / Uwajima
2014
47×47.5×74 cm
435 pages / 29.5 kg



芥子 / 音影 II
Poppy / Sound Shadow II
2008 / 125×105×8.5 cm
愛媛県美術館



Wallpaper
1978-79 / 162×162.5 cm



家系図 | Family Tree
1886-89 / 265×253×20 cm
セゾン現代美術館



網膜 (ニュー・トン・オブ・タンジェ I)
Retina (New Tong of Tangier I)
1992-93 / 216×212×82 cm



スクラップブック #71 / 宇和島
Scrapbook #71 / Uwajima
2018.9.10-2021.1.31
33×85.5×40.4 cm
574 pages / 17 kg



網膜 #1 (白ナイル)
Retina #1 (White Nile)
1988-90 / 250×180.5×7.5 cm
個人蔵



網膜 (クレバス) | Retina (Crevasse)
1990 / 300×230×11 cm



メンフィス #2 | Memphis #2
1989 / 252×180×4 cm
個人蔵



スクラップブック #65 / 宇和島
Scrapbook #65 / Uwajima
2005.3-2010.5.20
54×47×80 cm
895 pages / 28.9 kg



ティーチング・オブ・イスラム I
Teaching of Islam I
1983 / 117×117 cm



ティーチング・オブ・イスラム II
Teaching of Islam II
1983 / 117×117 cm



ナイロビでの私の生活 | My Life in Nairobi
1984 / 121.5×121.5 cm
公益財団法人 福武財団



ニューシヤネル | New Chanell
1998 / 179×73.5×16.6 cm



スクラップブック #64 / 宇和島
Scrapbook #64 / Uwajima
2003-05
50.6×54×62.2 cm
822 pages / 29.4 kg

●交通案内
JR 松山駅前より道後温泉または松山市駅行き市内電車で7分。「南堀端(愛媛県美術館前)」下車、徒歩1分。
※駐車場は、県庁西駐車場(2時間無料)をご利用できますが、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等のご利用をお願いします。

●観覧料
一般: 1,500円
高大生: 900円
※高齢者(65歳以上)は一般料金から100円引き。
※団体(20名以上)は各200円引き。
※中学生以下、障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料。
※本展期間中の、パフィオわじま内「大竹文庫」オリジナルスタンプを押したブックリスト、道後温泉本館の「熱景/NETS U-KEI」コラボレーション入浴券の半券をお持ちの方は団体料金で入場可。

本展オリジナルグッズも多数!
その他詳しい情報は本展公式ホームページをご覧ください。

【大竹伸朗展公式HP】
<https://www.takeninagawa.com/ohakeshinroten/>

最新情報は本展公式 SNS をチェック!
@ohakeshinroten

●初公開!
大竹伸朗が手掛けた「パフィオわじま」ホール緞帳作品と、道後温泉本館保存修理後期工事の素屋根テント膜作品の原画を特別展示します。



《のぞき岩》6.8×11m、2019年 / パフィオわじま

緞帳(のぞき岩)は宇和島市学習交流センター「パフィオわじま」1Fホールに設置。
※会期中特別公開を実施(日時等詳細は随時HP等で告知します)。
※同施設3Fに大竹伸朗の著書・蔵書が閲覧できるスペシャルライブラリー「大竹文庫」を常設。詳しくは公式SNS (@ohake_bunko) をご覧ください。

現在、「みんなの道後温泉 活性化プロジェクト」の一環で、大竹伸朗が原画を手掛けた道後温泉本館の保存修理後期工事の素屋根テント膜作品を設置中。※2024年まで(工事の進捗により変更あり)

テント膜サイズ: [東面] 約34m×6m、[西面] 約34m×約20m、[北面] 約30m×約20m、[南面] 約30m×約20m、[屋根] 約34m×約30m

大竹伸朗
1955年東京都生まれ。愛媛県宇和島市在住。主な個展に熊本県現代美術館/水戸芸術館現代美術ギャラリー(2019)、パナソニック現代美術財団(2014)、高松市美術館(2013)、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(2013)、アートソングセンター(2012)、広島市現代美術館/福岡市美術館(2007)、東京都現代美術館(2006)など。また国立国際美術館(2018)、ニュー・ミュージアム・オブ・コンテンポラリー・アート(2016)、パービカン・センター(2016)などの企画展に出展。ハワイ・トリエンナーレ(2022)、アジア・パシフィック・トリエンナーレ(2018)、横浜トリエンナーレ(2014)、ヴェネチア・ビエンナーレ(2013)、ドクメンタ(2012)、光州ビエンナーレ(2010)、瀬戸内国際芸術祭(2010、13、16、19、22)など多数の国際展に参加。また「アゲインスト・ネイチャー」(1989)、「キャビネット・オブ・サインズ」(1991)など歴史的に重要な展覧会にも多く参加している。作家サイト <https://www.ohakeshinro.com>

Shinro Ohtake
Born 1955 in Tokyo, Japan. Lives in Uwajima City, Ehime Prefecture. Major solo exhibitions include Contemporary Art Museum, Kumamoto / Contemporary Art Gallery, Art Tower Mito (2019); Parasol Unit, London (2014); Takamatsu Art Museum (2013); Marugame Genichiro-Inokuma Museum of Contemporary Art, Kagawa (2013); Art Sonje Center, Seoul (2012); Hiroshima City Museum of Contemporary Art / Fukuoka Art Museum (2007), and the Museum of Contemporary Art Tokyo (2006). Group exhibitions include the National Museum of Art, Osaka (2018); the New Museum, New York (2016); and Barbican Art Gallery, London (2016). Among the many international art festivals in which Ohtake has participated are Hawaii Triennial 2022, the 9th Asia Pacific Triennial (2018), Yokohama Triennale 2014, the 55th Venice Biennale (2013), documenta 13 (2012), the 8th Gwangju Biennale (2010), and the Setouchi Triennale (2010, '13, '16, '19, '22). He has also participated in such historically significant exhibitions as "Against Nature: Japanese Art in the Eighties" (1989), "A Cabinet of Signs: Contemporary Art from Post-Modern Japan" (1991), and the 1st Asia Pacific Triennial (1993).

愛媛県美術館
〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
Horinouchi, Matsuyama City, Ehime Prefecture 790-0007
TEL: 089-932-0010
<https://www.ehime-art.jp/>